

日本社会保障法学会会報 第35号

発行日：2013.9.1 発行人：秋元美世 編集人：新田秀樹 発行：日本社会保障法学会
本部事務局住所：〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1 中央大学法学部 新田研究室気付
Tel：042-674-3216 Fax：042-674-3133 E-mail：sslaw@tamacc.chuo-u.ac.jp
URL：http://www.jassl.jp/ 会員数：563名（2013年9月1日現在）

第64回秋季大会開催案内 事務局長 新田秀樹（中央大学）

日本社会保障法学会第64回秋季大会が下記の通り開催されます。皆様お誘い合わせの上ご参加いただきますようお願い申し上げます。

- ・ 日 時：2013年10月19日（土） 9：00～17：00
- ・ 会 場：首都大学東京 南大沢キャンパス（〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1）
大学までの交通、大学内の案内につきましては本会報末尾の地図をご参照ください。
総会・シンポジウム会場：1号館 1階 120室
- ・ お問い合わせ先 Tel：042-677-2134（矢嶋里絵 研究室）
- ・ 大会次第（詳細につきましてはレジュメ集をご覧ください。）

受付開始・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9:00
開会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9:30

個別報告

●第一会場（1号館 101室）

○地神亮佑（大阪大学・院）・・・・・・・・・・・・・・・・ 9:30～10:30
「アメリカの失業保険制度における受給資格と給付制限」
司会：水島郁子（大阪大学）

●第二会場（1号館 201室）

○西村 淳（独立行政法人福祉医療機構）・・・・・・・・ 9:30～10:30
「所得保障の法的構造—イギリスとオーストラリアの社会保障法制の考察から—」
司会：菊池馨実（早稲田大学）

共通テーマ・シンポジウム

「失業・求職者の生活保障制度の検討—雇用と社会保障法の連携への提言—」

司会：脇田 滋（龍谷大学）、瀧澤仁唱（桃山学院大学）

○脇田 滋（龍谷大学）・・・・・・・・・・・・・・・・ 10:40～10:50
企画の趣旨について

○矢野昌浩（龍谷大学）…………… 10:50～11:30
「失業・半失業と生活保障—労働法の視点から」

○上田真理（東洋大学）…………… 11:30～12:10
「変容する失業と被用者保険—広義の失業時保障における雇用保険の射程」

総会・開催校あいさつ…………… 12:10～12:40

休憩（昼食）…………… 12:40～13:40

共通テーマ・シンポジウム（続き）

○田中明彦（龍谷大学）…………… 13:40～14:10
「失業・半失業の常態化と生活保護法の課題—稼働能力活用要件に関する検討を中心に」

○濱畑芳和（立正大学）…………… 14:10～14:40
「若年者の雇用保障—求職者支援、職業訓練を中心に」

○山本 忠（立命館大学）…………… 14:40～15:10
「現代の雇用保障政策における大学生の位置づけに関する検討」

休憩…………… 15:10～15:30

○シンポジウム…………… 15:30～17:00

大会終了…………… 17:00（予定）

※同封の大会出欠確認はがきに必要な事項を記載の上、**2013 年 10 月 9 日（水）**までにご返送いただきますようお願いいたします。

※昼食を希望される方は、大会出欠確認はがきの「昼食」の「要」に○をつけてください。昼食を希望された方は、大会当日、受付にて昼食券を購入してください。代金は 1000 円です。なお、昼食券を申し込みされた方は必ずご購入ください。

※懇親会の参加を希望される方は、大会出欠確認はがきの「3. 懇親会」の「出席」に○をつけてください。懇親会の参加を希望された方は、大会当日、受付にて懇親会券を購入してください。代金は 6000 円です。懇親会の会場は、首都大学東京南大沢キャンパス国際交流会館内「ルヴェソソヴェール南大沢」です。なお、今回の懇親会は、会場の都合により 18 時 30 分からの開催となります。大会終了後しばらくお待ちいただくこととなりますが、何卒ご了承ください。

※本大会においては、**大会時間中の一時保育を実施します**。この一時保育は、全国保育サービス協会加盟の株式会社タスクフォース（<http://www.taskforce-pr.co.jp/>）の保育スタッフが、首都大学東京の学会会場内に設置される保育室にて、保育を行うものです。利用料金や申込方法については、9 月 10 日（火）までに学会ウェブサイトでお知らせしますので、ご利用希望の方はご覧ください。なお、この件に関するお問い合わせは、増田幸弘会員（日本女子大学、ymasuda@fc.jwu.ac.jp）および関ふ佐子会員（横浜国立大学、chako@ynu.ac.jp）の両方をお願いいたします。

企画委員会からのお知らせ 企画委員長 加藤智章（北海道大学）

第 64 回秋季大会は、首都大学東京南大沢キャンパスにおいて 2013 年 10 月 19 日（土）に開催されます。脇田滋理事を中心に、「失業・求職者の生活保障制度の検討—雇用と社会保障法の連携への提言—」をテーマにシンポジウムを開催する予定です。また、個別報告として、地神亮佑会員（大阪大学・院）の「アメリカの失業保険制度における受給資格と給付制限」、西村淳会員（独立行政法人福祉医療機構）の「所得保障の法的構造—イギリスとオーストラリアの社会保障法制の考察から—」が予定されています。

第 65 回春季大会は、大阪大学において 2014 年 5 月 24 日（土）に開催される予定です。現在、「障害者法制の総合的検討（仮）」をテーマにシンポジウムの準備が進んでいます。また、個別報告として、現在 1 件のエントリーを受理しています。

学会で取り上げるべきテーマなどにつき会員の方からのご意見をお待ちいたしております。また、個別報告についても随時エントリーを受け付けています。 (katotomo@juris.hokudai.ac.jp)

（若手会員の文献リスト作成に関して）

企画委員会では、今後の企画立案に役立てるとともに、若手会員（40 歳未満もしくは大学院入学後 10 年未満の会員）の業績を広く紹介するため、文献リストを作成し、学会のホームページに掲載します（当学会誌掲載のものは除く）。つきましては、企画委員会の情報収集能力に限界があるため、上記要件に該当する論文・著書の現物またはコピーを下記にお送り頂ければ幸いです。なお、お送り頂いた論文・著書等は返却いたしませんのでご了承ください。

〒060-0809 北海道札幌市北区北 9 条西 7 丁目
北海道大学大学院法学研究科
加藤智章

学会誌投稿論文の募集について 企画委員長 加藤智章（北海道大学）

学会誌投稿論文を募集しています。ふるってご応募ください。募集要領は下記の通りです。

記

- 1 学会誌に発表する論文は未発表のものに限ります。
- 2 投稿者は本学会会員に限ります。
- 3 投稿された原稿は、論文審査委員会が内容を考慮して選定した論文審査委員に、氏名を伏して審査を委嘱します。その結果に基づき、論文審査委員会が採否を決定します。採用された原稿の掲載方法等については、学会誌編集委員会で決定します。
- 4 採用にあたっては、より一層内容の充実を図るために、補筆や修正等をお願いすることがあります。
- 5 原稿の分量は、原則として、14,000 字（200 字詰め原稿用紙 70 枚）以内とします。
- 6 執筆要領は、別にお渡しします。応募ご希望の方は、学会事務局まで請求してください。なお、公正な審査を行うため、執筆者を特定・推定させるような表現はお避けください。たとえば、注の中で投稿者自身の執筆論文・著書を引用する場合には、「拙稿」といった表現は用いずに、他の執筆者の論文等の引用と同じスタイルで引用してください。

- 7 英文タイトルおよび英文要約（200 語以内）を必ずつけてください。
- 8 投稿論文は、コピーを含め 3 部提出してください。提出された原稿は、採否にかかわらず返却いたしません。
- 9 締め切りは、2013 年 9 月 30 日（必着）とします。
- 10 投稿原稿は、学会事務局気付「論文審査委員会」宛に、簡易書留にてご送付ください。

〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1

中央大学法学部 新田研究室気付

日本社会保障法学会事務局「論文審査委員会」宛

学会誌編集委員会からのお知らせ 編集委員長 西田和弘（岡山大学）

- ・学会誌 29 号の原稿締め切りは例年どおり 12 月 20 日（金）ですので、関係する会員におかれましては締め切りの厳守をお願いいたします。また、63 回春季大会報告者の方並びに 64 回秋季大会報告予定者の方には秋季大会終了後を目途に執筆要領をお送りいたしますので、文献の引用形式等につき要領を遵守していただけますようよろしくお願い申し上げます。
- ・学会誌 29 号には学会員が執筆した書籍（2013 年 1 月から 12 月までに出版されたものに限る）の出版案内を掲載する予定です。該当書籍についての情報がありましたら、編集委員長の西田までメールにてご連絡ください。（knishida@law.okayama-u.ac.jp）
- ・64 回秋季大会では、学会当日の昼食休憩時に編集委員会の開催を予定しております。詳細については追ってメールにてお知らせしますので、編集委員の方はご承知おきください。

学会誌 28 号に掲載された坂井岳夫会員の論文に係る校正ミスについてのお詫び

編集委員長 西田和弘（岡山大学）

本年 5 月に発行された学会誌 28 号に掲載された坂井岳夫会員の論文「ドイツ国内法への EU 法の影響」に、編集委員会の校正ミスから多くの誤記を生じさせたことにつきお詫びを申し上げます。

今回の校正ミスは、坂井会員の論文の注に記載された欧文文献の字体（ローマン体またはイタリック体）を編集委員会が校正段階で不正確に修正してしまい、かつこれを形式的な修正として取り扱って著者である坂井会員への確認を怠ったために生じたものです。この結果、坂井会員には多大のご迷惑をおかけしましたことを、改めて深くお詫び申し上げます。

今後はこうしたミスを起こさぬよう、形式的修正につきましても著者の方に何らかの形で御確認いただけるような方向で編集プロセスを見直していく所存です。

なお、同論文の正確な注は以下に掲げるとおりですので、ここに訂正をさせていただきます（下線部が訂正箇所）。

注	誤	正
1	Hubrich/Tivig, <i>Betriebsrenten</i> im <i>Altersversicherungssystem Deutschlands: Eine Betrachtung aus volkswirtschaftlicher Sicht</i>	Hubrich/Tivig, <i>Betriebsrenten im Altersversicherungssystem Deutschlands: Eine Betrachtung aus volkswirtschaftlicher Sicht</i>

1	<u>Ebbinghaus/Gronwald/Wiß</u> , Germany: Departing from Bismarckian Public Pensions, in: Ebbinghaus (Hrsg.), <u>The Varieties of Pension Governance: Pension Privatization in Europe</u>	<u>Ebbinghaus/Gronwald/Wiß</u> , Germany: Departing from Bismarckian Public Pensions, in: Ebbinghaus (Hrsg.), <u>The Varieties of Pension Governance: Pension Privatization in Europe</u>
2	<u>Ebbinghaus/Gronwald/Wiß</u>	<u>Ebbinghaus/Gronwald/Wiß</u>
4	<u>Löschhorn</u> , in: Förster/Cisch/Karst, <u>Betriebsrentengesetz</u>	<u>Löschhorn</u> , in: Förster/Cisch/Karst, <u>Betriebsrentengesetz</u>
4	<u>Rolfs</u> , in: Blomeyer/Rolfs/Otto, <u>Betriebsrentengesetz</u>	<u>Rolfs</u> , in: Blomeyer/Rolfs/Otto, <u>Betriebsrentengesetz</u>
9	<u>Baumeister</u>	<u>Baumeister</u>
10	<u>de Groot</u>	<u>de Groot</u>
10	<u>Bittner</u>	<u>Bittner</u>
10	<u>Zeppenfeld/Röbler</u>	<u>Zeppenfeld/Röbler</u>
11	<u>Weigel</u>	<u>Weigel</u>
12	<u>de Groot</u>	<u>de Groot</u>
12	<u>Bittner</u>	<u>Bittner</u>
12	<u>Zeppenfeld/Röbler</u>	<u>Zeppenfeld/Röbler</u>
12	<u>Rolfs</u>	<u>Rolfs</u>
14	<u>Heubeck</u>	<u>Heubeck</u>
14	<u>Oecking/Wunsch/Zimmermann</u>	<u>Oecking/Wunsch/Zimmermann</u>
14	<u>Zeppenfeld/Röbler</u>	<u>Zeppenfeld/Röbler</u>
16	<u>Bitter</u>	<u>Bittner</u>
17	<u>Oecking/Wunsch/Zimmermann</u>	<u>Oecking/Wunsch/Zimmermann</u>
18	<u>Rolfs</u>	<u>Rolfs</u>
18	<u>Cisch</u>	<u>Cisch</u>
19	<u>Cisch</u>	<u>Cisch</u>
20	<u>Rolfs</u>	<u>Rolfs</u>
21	<u>Steinmeyer</u>	<u>Steinmeyer</u>
22	<u>Steinmeyer</u>	<u>Steinmeyer</u>
23	<u>Steinmeyer</u>	<u>Steinmeyer</u>
29	<u>Herrmann</u>	<u>Herrmann</u>
33	<u>Körper</u>	<u>Körper</u>
34	<u>de Groot</u>	<u>de Groot</u>
35	<u>Rolfs</u>	<u>Rolfs</u>
38	<u>Steinmeyer</u>	<u>Steinmeyer</u>
39	<u>Steinmeyer</u>	<u>Steinmeyer</u>
39	<u>Bittner</u>	<u>Bittner</u>
40	<u>Eichenhofer</u>	<u>Eichenhofer</u>
41	<u>Steinmeyer</u>	<u>Steinmeyer</u>

日本社会保障法学会理事会議事録要旨 日本社会保障法学会事務局

○2013年度5月定例理事会

- ・日時：2013年5月17日（金）16：00～17：20
- ・場所：鹿児島大学 郡元キャンパス 法文学部1号館4階 経済情報学科会議室
- ・議事内容
 - ①第63回春季大会の運営について（略）

- ②第 64 回秋季大会の運営について（略）
- ③第 65 回春季大会以降の運営について（略）
- ④学会誌投稿論文・奨励賞について（略）
- ⑤学会誌編集委員会より
編集委員の改選が行われた。
- ⑥2012（平成 24）年度決算・2013（平成 25）年度予算について
新田事務局長より 2012 年度会計決算について報告。石田監事の監査報告を受けて承認。
新田事務局長より 2013 年度予算（案）について報告。理事会において承認。
- ⑦各委員会より（略）
- ⑧入会者承認、退会者報告（略：下記の「入退会のお知らせ」をご覧ください）
- ⑨その他（略）

○2013 年度 7 月定例理事会

- ・日時：2013 年 7 月 6 日（土）16：00～17：30
- ・場所：東洋大学 白山キャンパス 6 号館 1 階 第 3 会議室
- ・議事内容
 - ①第 64 回秋季大会の運営について（略）
 - ②第 65 回春季大会の運営について（略）
 - ③第 66 回秋季大会以降の運営について（略）
 - ④学会誌投稿論文・奨励賞について
奨励賞は本年度応募なし。
 - ⑤学会誌編集委員会より（略）
 - ⑥各委員会より（略）
 - ⑦入会者承認、退会者報告（略：下記の「入退会のお知らせ」をご覧ください）
 - ⑧名誉会員の推薦について
理事会として、荒木誠之・伊藤博義・小川政亮・桑原洋子・靱井常喜の各会員を名誉会員として推薦することを決定した。
 - ⑨その他（略）

入退会のお知らせ 日本社会保障法学会事務局

- ・2013 年 5 月 17 日（金）、7 月 6 日（土）の定例理事会で、次の方々の入会が承認されました。
（順不同、敬称略）
今川奈緒（茨城大学）、上野大輔（神戸大学・院）、井上浩平（北海道大学・院）、村上文（帝京大学）、
佐藤吾郎（岡山大学・院）、林健太郎（早稲田大学・院）
- ・2013 年 5 月 17 日（金）、7 月 6 日（土）の定例理事会で、次の方々の退会が報告されました。
（順不同、敬称略）
野村晃、木幡洋子、藤田博仁、武元勲、澤田由紀、大橋將、上畑恵宣、高藤昭、金聖烈、森誠次、盛
誠吾、金川琢雄、都留民子、高橋紘一、木野智香、木内隆司
- ・本学会に多大な貢献をされた高藤昭先生は、ご逝去による退会です。ご冥福をお祈り申し上げます。

橋本宏子会員に関し誤って退会手続きを行ったことについてのお詫び

事務局長 新田秀樹（中央大学）

学会会報 34 号（2013 年 4 月発行）において橋本宏子会員が本学会を退会された旨の記事を掲載いたしましたが、これは学会事務局の事務処理手続きのミスによるものであり、取消しをさせていただきます。橋本会員には謹んでお詫び申し上げます。

このようなミスが生じたのは、橋本会員が他学会宛に退会届を提出されたところ、当該学会の委託事務局を受託していた大学生協学会支援センター（注：本学会も事務の一部を委託）がその退会届を本学会に対するものと取り違えて事務処理を行ったことが原因です。本学会の委託事務局である同センターからは本部事務局宛にこの間の経緯説明と謝罪を述べた文書が提出されておりますが、本部事務局としてもこうしたミスをチェックすることができず、橋本会員に多大のご迷惑をおかけすることとなってしまいました。改めて心よりお詫び申し上げる次第です。

今後こうしたことが起こることを防止するべく、本部事務局と委託事務局の連携を密にすることはもちろんですが、それに加えて、「事務局からのお知らせ」欄にも掲載したように、会員が学会を退会する場合の通知の様式を整備し、学会ホームページ中に掲載することといたしました。今後は、もし学会を退会されるような場合にあっては、当該書式に必要事項を記入した退会通知を本部事務局までご提出くださるよう会員の皆様のご理解とご協力のほどをお願い申し上げます。よろしくお願いいたします。

事務局からのお知らせ 日本社会保障法学会事務局

○退会通知用書式の整備について

今般、これまで未整理であった事務局の退会情報管理を明確に整理することを目的として、「退会通知」の書式を整備し、学会ホームページの「各種資料ダウンロード」欄の中に掲載いたしました。今後学会を退会されるような場合にあっては、当該書式に必要事項を記入した退会通知を本部事務局までご提出ください。会員の皆様のご理解とご協力のほどをお願い申し上げます。

○学会誌バックナンバーについて

学会誌につき、引き続き、皆様所属の図書館やご近所の図書館等で購入希望を出していただければ幸いです。ご注文につきましては、1 号から 12 号までは委託事務局に、13 号以降は法律文化社営業部（Tel: 075-702-5830）にお問い合わせください。バックナンバー1 号から 12 号までの在庫数は、学会ホームページにてご確認ください。

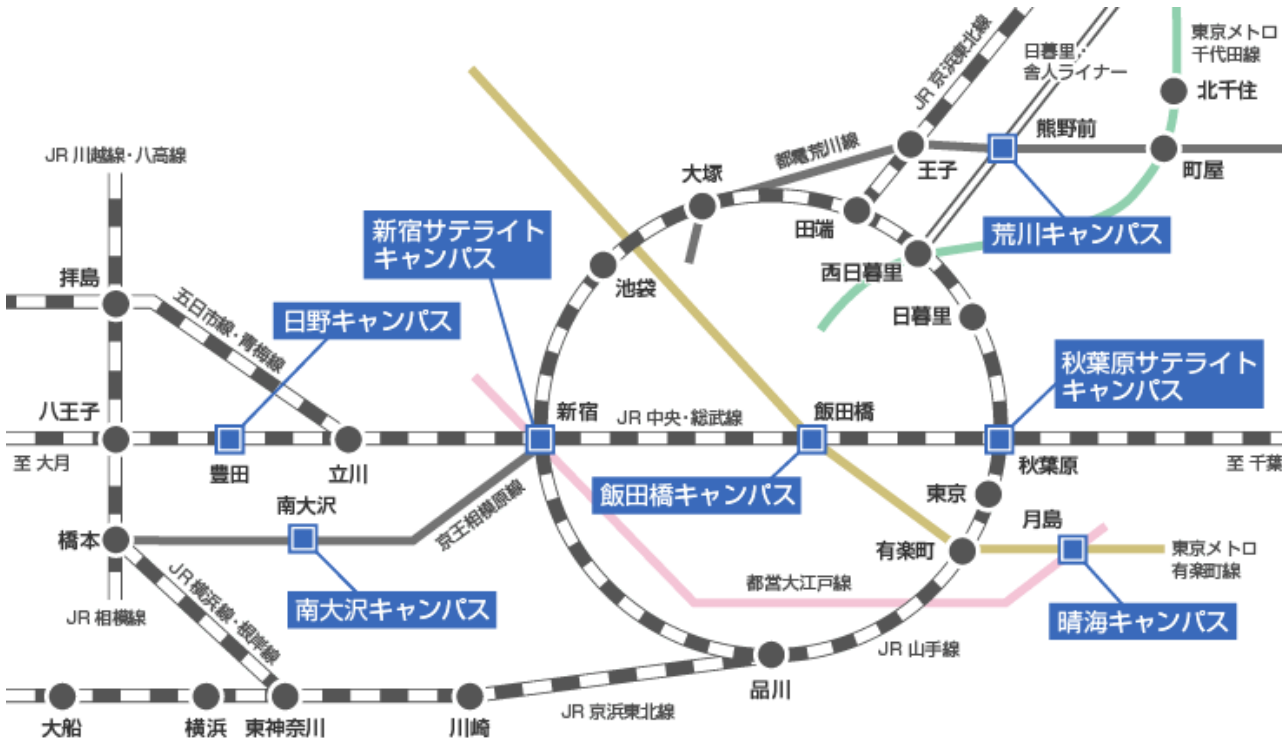
○英文パンフレットについて

英文パンフレットの残部が事務局に若干数ありますので、ご入り用の方は事務局までメールでご連絡ください。

○次回以降の学会大会について

第 65 回春季大会は、2014 年 5 月 24 日（土）、大阪大学にて開催される予定です。

■首都大学東京 南大沢キャンパス アクセスマップ



■京王線「新宿」駅から、「調布」駅を経由して、京王相模原線「南大沢」駅まで約40分。



■京王相模原線「南大沢」駅下車。改札口から徒歩約5分。改札口を出て右手に緑に囲まれたキャンパスが見えます。

キャンパスマップ

南大沢キャンパス

●都市教養学部 ●都市環境学部 ●システムデザイン学部 (1・2年次) ●健康福祉学部 (1年次)

- | | | |
|----------------------------------|--------------------|--------------|
| 1 1号館 教室棟 | 14 学生ホール | 26 カフェテリア館 |
| 2 講堂 | 15 生協食堂 | 27 温室・実験圃場 |
| 3 2号館 | 16 図書館本館 | 28 13号館 |
| 4 91年館 | 17 情報処理科施設 | 29 プロジェクト研究棟 |
| 5 3号館 | 18 牧野標本館 | 30 運動広場 |
| 6 4号館 | 19 国際交流館 | 31 学生寮 |
| 7 5号館 | 20 RI棟 | 32 陸上競技場 |
| 8 6号館 | 21 飼育棟 | 33 屋内温水プール |
| 9 本部棟 | 22 都市教養学部 | 34 体育館 |
| 10 本部棟 総務部・首都大学東京管理理部 (入試課) | 23 8号館 | 35 サークル棟 |
| 11 本部棟 学生サポートセンター (キャリア支援課・健康支援) | 24 9号館 | 36 テニスコート |
| 12 センター (学生相談室・医務室) | 25 11号館 | 37 球技場 |
| 13 インフォメーションギャラリー | 26 12号館 | 38 和・洋弓場 |
| 14 AV棟 | 27 10号館 | 39 野球場 |
| 15 生協購買書籍部 | 28 10号館 実験棟 | |
| | 29 栄養・食品科学/観光科学研究棟 | |

1号館【メイン会場】

国際交流会館内「ルヴェゾン
ヴェール南大沢」【懇親会場】

